

平成25年5月 第323号
 大代地区コミュニティ推進協議会
 (広 報 部)
 事務局：大代地区公民館
 TEL 022-364-8442

ふれあい

掲 載 目 次

- | | | |
|-------------------------------|-----------------|-----------------|
| ●東日本大震災・講演と追悼
献花式を開催して・・・1 | ●サークルゆりの紹介・・・2 | ●大代の歩み(五十八)・・・3 |
| ●地区防災協議会総会を終
えて・・・2 | ●大代剣道教室の紹介・・・3 | ●ふれあい短歌・・・4 |
| | ●波来の地石碑について・・・3 | ●ご挨拶・・・4 |
| | | ●お知らせ・・・4 |

大代地区の世帯数(平成25年3月31日現在)：東区349、中区322、西区296、北区120、南区583、合計1,670

東日本大震災・講演と追悼献花式を 開催して

大代中区町内会

会長 小野 菊郎

未曾有の災害を乗り越えて2年が経ちました。

3月11日、昨年に続いて慰霊祭を中区主催で、大代公民館及び柏木神社境内で開催いたしました。参加者は、62名(中区以外の方6名)でした。

今年は、自然災害に対し、私たちはどのように向き合って日常生活を送るべきか、心構えを意識すべきと思い企画しました。

公民館では、「地震津波今昔と警告」と題して、宮城武雄さんに講演をしていただきました。講演の内容は、多賀城市(周辺市町含む)の地形図標高、津波浸水痕跡高、各地津波の被害状況、歴史に見る津波(貞観地震他)等をビデオで解説していただきました。津波の惨状は、改めて自然の驚異に恐怖を感じました。各地の津波被害に声を失い改めて体験した状況が甦ってきました。

東北の地形図標高から北上川、阿武隈川が流れ込み、仙台平野が出来ていること、三陸沿岸のリアス式海岸の特殊地形が鮮明に見て取れ、津波が数キロも遡上し、浸水する様子が理解できました。

講演後、参加者皆様で、震災を経験して成すべきこと、継ぐべきことはないかと自由に討論していただきました。その中で出たご意見は、次の様なものです。

・経済的に自己防衛をする。(保険を活用)

・被災から立ち上がる力(経済、防災、減災等)を小学校から教育すべき。

・避難先を家族で確認しておく。

・自然災害は防げない。

・町内会で備蓄しているものは、高台に移設するべき。

・防災行政無線が聞こえない。

・男性より女性の声聞き取りやすい。

・海上保安部構内へ設置すれば、中区全域が聞き取れる。

・2階に重要物を保管している。

・3日分の水食料等を備蓄している。

・防災訓練場所は、学校で行い、身体に習慣づける。

・昨年12月の津波警報で2階に避難した方がいた。

・津波襲来は、思ってもいなかった。

・携帯ラジオを常時身に付けるようになった
・物心共に多くの方々から受けたご支援に感謝します。

・非常食、缶詰等で入居者は、我慢して頑張った。

大代剣道教室の紹介

大代剣道教室会長 山崎 とも佳

明るく元氣いっぱいの子供達が毎週金曜日、大代地区公民館体育室で稽古をしています。
 (その他毎週月曜日は多賀城自衛隊体育館、水曜日は東豊中学校体育館で稽古を行っています。)

団員は、幼稚園、小学生、中学生と年齢も様々です。

当教室では、稽古だけでなく、いろいろなレクリエーションや合宿なども一緒に経験しながら、心と身体の成長に努めております。是非一度、見学、体験にいらしてください。初心者の方で防具等をお持ちでない方には、お貸ししますので、気軽にお願いください。

お待ちしております。

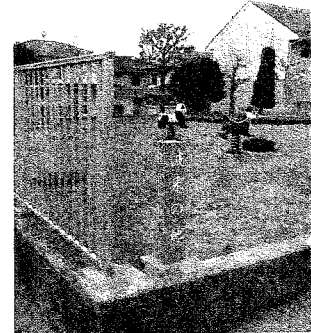
連絡先 山崎 とも佳
 電話 364・0460



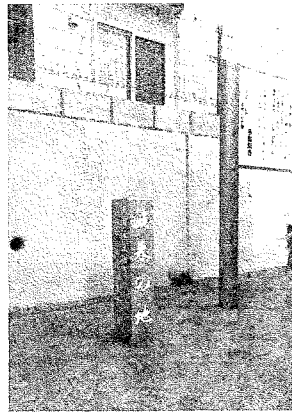
大代公民館での練習風景です。家族の皆さんも応援に来ています。

波来の地石碑について

大代中区 高橋 秀秋



中峯北公園



雷神公園

石碑に刻まれている文字「大津波がたどり着いた果て、波来(はらい)の地、災いをはらい、永久に注意をはらい続けることを願ってここに刻む。」
 また、碑頭には「絆」の文字が刻まれています。

右図のような石碑を目にしたことはありませんか。この石碑は、東日本大震災で津波の被害を受けた多賀城市に寄贈されたもので、大代地区では中区の雷神公園、南区の中峯北公園に設置されております。

これは東日本大震災石碑プロジェクト委員会(宮城大学、石巻専修大学三橋ゼミナールなど)の善意により、建立されたもので、大震災で亡くなられた方々の鎮魂と慰霊、津波の大きさを後世に伝え、意識の風化を防ぐ、被災地で懸命に活動して下さった方々への

敬意を表す目的で建てられたと伺いました。寄贈された方々に対し、心から感謝申し上げます。後世に引き継ぐ石碑として、大切に保存していきたいと思えます。

大代の歩み(五十八)

大代南区 渡邊 巖

次に、多賀城海軍工廠建設に纏わる犠牲者(タコ部屋人夫)について略記する。

昭和一七年、日本海軍は宮城県多賀城村に海軍工廠を建設するため工廠用地を強制買収し、緊急工事を菅原組に請負させた。当時、軍事施設の突貫工事建設は、タコ部屋人夫を使う土木会社として有名な菅原組でないと出来ないといわれ、菅原組はこの工事を更に配下の九つの組に下請けさせていた。(タコ部屋 蛸壺同様、逃走は困難)

これらの下請業者は当時、多賀城村大代字枳形園(現、大代六丁目三番の付近、緩衝緑地公園内)に一棟の飯場を建てて人夫を収容した。各地の人数は一七〇名から三〇〇名以上の規模であった。

これら各飯場の配下で人夫として働いていた労務者の大半は、周旋屋の甘言に釣られ前借りして働きに来た者で、このため仕事がつくても身動きが出来ず、遂に過労、栄養失調と飯場で流行した発疹チフスが主な原因で

・JXの避難要請が2kmから200mに変更したのは理解できない。
 ・車のガソリンは、半分になったら満タンにするようになった。などでした。
 このようなご意見から、自然災害に対する反省と今後の備えについて再認識されたことと存じます。
 その後、会場を柏木神社に移して犠牲者を悼み、献花をしていただきました。



データや実録の映像で説明する宮城さん



花を手向け追悼の鐘突きをする参加者の方々

地区防災協議会総会を終えて

大代東区 佐藤 捷逸

4月16日土曜日、大代北区集会所において、地区防災協議会の総会が実施されました。議案の中で、懸案事項について審議いたしました。この中で特に議題として取り上げられたのは、災害に対する備えのことでした。

今年も、事業計画の中に企業等（キリンビ

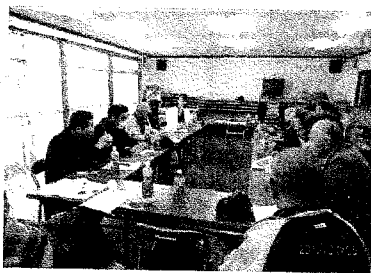
ール、JX日鉱日石エネルギー㈱、緩衝緑地公園、仙塩浄化センター）の見学と講話が盛り込まれましたが、これらは私達が災害から身を守り、安心して暮らす上で、是非知っておいてほしい内容のものでした。

総会終了後、会長の提案で懇談の時間を設けましたが、防災訓練の必要性や火力発電所、JX日鉱日石エネルギー㈱のことなど数多く話し合われました。

また、3月16日には前多賀城消防署長の渡辺清氏から講話をいただき、数限りない惨状を伺って、いろいろな教訓を得ることができました。東北大学名誉教授（津波工学）首藤伸夫氏も話しておられましたが、構造物は、造った瞬間から劣化が始まっているそうです。

しかし、災害に対して人間だけは劣化しないようにしたいものですと語っておりました。

私自身も、劣化することなくあらゆる機会をとらえて研鑽し、伝えて行こうと思っております。



総会の様子、出席者の方々から活発なご意見をいただきました。

サークルゆりの紹介

サークルゆり会長 渡邊 えみ子

私達「サークルゆり」は、レクリエーションダンスを楽しんでいるサークルです。

レクリエーションダンスとは、レクダンスとも呼ばれ、指導者の簡単な説明で、どなたでも直ぐに踊れて楽しめるダンスです。流行の先端を行く人気のある曲に、振付をするのが特徴なので、流行に乗って楽しめます。パートナーも次々変わるので、いろいろな方とも出会えるし、あまりハードな動きはないので体力づくりにも最適と喜ばれております。

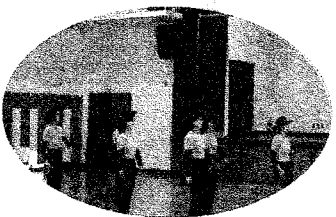
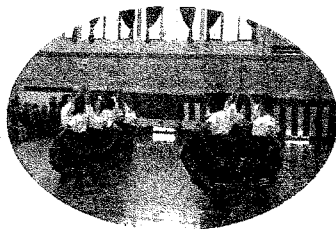
毎月第2、第4木曜日午後1時30分から3時30分の間楽しんでおります。

大代公民館の体育室で活動しておりますので、お友達とご一緒に見学、体験してみませんか、お待ちしております。

連絡先 宮本 満子

電話 364・0460

携帯 080・6050・0460



公民館まつりで練習の成果を披露しました

病に倒れてしまう場合が多かったという。しかし中には仕事に耐えきれずに飯場を抜け出して捕まり、リンチを受けて病院に担ぎ込まれた後に死亡した者もあり、殊に工廠建設に於ける菅原組の夕コ飯場では、病気で動けなくなつても畚（モッコ）に入れて現場に担いで行つて働かせるという状況であつた。

他に菅原組に係わる人夫虐待の話は、徴用工（日本人、朝鮮人）、囚人（宮城刑務所ほか）についても存在するが割愛する。

その間にも米軍による日本本土空襲は続き昭和一九年一二月の塩竈・同二〇年七月の仙台空襲があり、更には昼間不規則に來襲する艦載機の機銃掃射を避けるため野外の農作業を月明の夜間に行うこともあつた。

臆（やがて）同年八月一五日終戦、多賀城村は幸いにも大空襲を受けず、工廠も一年五ヶ月の短い使命を終えた。

拙文でしたが、記述予定の時代範囲を終了しましたので、読者と編集の方々の御厚意に感謝申し上げます、此の稿を終えさせていただきます。有難うございました。



ふれあい短歌（歌枕編）

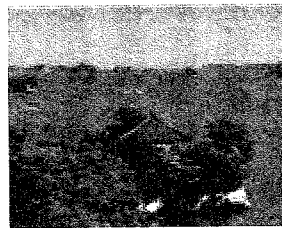
大代西区 藤田 遊子

五大堂 透かし橋を 渡り行く

水に映れる 松の緑は

陸奥の 歴史を語る 石ぶみに

哀歎の翁 泪溢れし



ご挨拶

大代地区公民館長 佐々木 政則

4月の人事異動により、教育総務課から大代地区公民館勤務を命じられ着任しました佐々木と申します。前任の庄司前館長同様、よろしくお願い申し上げます。

市役所に入り30余年経過しておりますが、公民館などの社会教育施設勤務は、初めてとなります。皆さまにご迷惑をおかけする場もあろうかと思ひますが、一生懸命頑張りたいと思ひます。

終わりに、大代五区及び笠神地区などの皆さまに、利用しやすい公民館となるよう職員一同努力してまいりますので、今後ともよろ

しくお願い申し上げます、着任のご挨拶といたします。

お知らせ

●前館長の庄司和宏さんは、平成25年3月31日付をもって定年により退職されました。1年5ヶ月の短い期間ではありましたが、これまでのご労苦に対し心から感謝を申し上げます。

●貞山運河周辺清掃について

コミュニティ推進協議会生活安全部 平成25年度、春の貞山運河周辺清掃を行います。皆様のご協力をお願いします。

日 時 平成25年5月19日（日）

午前6時から（1時間程度）

清掃区域 橋本橋く中峯橋の貞山運河沿い及び各町内の道路（例年と同じ）

集合場所 大代地区公民館前

雨天の場合は中止します（小雨決行）

※ 手袋を持参してください。またゴミ拾いバサミをお持ちの方はご持参ください。

